



絵：光武白水

鳥越 聡太さん
(橘小学校5年)

宮中 優愛々さん
(東原庫舎中央校5年)

八田 心月さん
(塩田小学校5年)

徳川 拓実さん
(本庄小学校5年)

明けまして
おめでとうございます

旧年中は格別のご支援を賜り
誠にありがとうございました
本年も子供たちの未来のために
皆様と共に歩んでまいります
どうぞ変わらぬご指導ご鞭撻のほど
よろしくお願い申し上げます

佐賀県PTA連合会

2026
新年のごあいさつ



発行所

佐賀市南佐賀3-11-15
佐賀県立佐賀東高等学校内
佐賀県PTA連合会
☎0952(26)2276

発行責任者

会長 馬場 将嘉

佐賀県PTA連合会ホームページ
<http://www.saga-pta.jp/>



明けましておめでとうございます。
皆様には恙無く新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
佐賀県では、子どもが自分で自分のことを決めることができるよう、また、仲間やいろんな人と協働しながら自分らしく学び、夢に向かって伸び伸びと挑戦していけるよう、応援していきたいと考えています。



佐賀県教育委員会
甲斐 直美 教育長

その環境づくりの一つとして、一クラス三十五人以下の少人数学級を、国に先駆けて、中学校一年生にも導入しました。
また、小学校では「チーム担任制」の取組も始めています。
複数の教師がチームを組むことにより、多面的に子どもたちを理解することができ、ちょっとした変化にも早めに気づくことができます。
教師間のチーム力も向上します。
子どもや保護者にとって、より多くの先生と関わることで、相談したい内容に応じて先生に話すことができ、安心感にもつながります。

子どもたちが、豊かなつながりの中で、興味・関心の幅を広げ、自分らしく学んでいけるよう、これからも工夫してまいりたいと考えています。
子どもたちが大きく飛躍できるよう、今年も、PTAの皆様と一緒に応援していければと思っています。私たち大人がチームを組み、輪となつて、子どもたち一人ひとりの笑顔と様々な挑戦を支えてまいりましょう。

笑顔と挑戦を支えるつながりの輪

新年あけましておめでとうございます。
佐賀県内の会員の皆様におかれましては、日頃から本連合会への活動に對しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げますと共に、各単位PTAにおける活動に熱心に取り組んでいただいていることに併せて感謝と敬意を表します。
近年、PTAの存在意義が強く問われるようになって



佐賀県PTA連合会
馬場 将嘉 会長

きました。様々な生活環境の変化、共働き世帯や核家族化の増加により活動に時間を割ける保護者も減り、役員や委員のなり手も不足しています。結果として、特定の保護者や一部の経験者に負担が集中し、「やらされ感がストレスの原因となる中で、会員の皆様の中にも「PTAって必要なの？」という疑問を抱かれている保護者や教職員の方々も少なくはないのではないのでしょうか。だからこそ、これからのPTA組織並びに活動を今の時代の変化に合った、そしてその先の未来を見据えた新たなPTAとして変革させていくことが急務だと思っています。

そこで令和8年1月開催の本連合会主催のリーダー研修会と11月開催予定の佐賀県PTA研究大会では、PTAの存在意義と単位PTAが目指したい組織づくりと運営のヒントを得ることができるような研修会・研究大会になるように準備を進めていますので、多くの会員の皆様にご参加をお願いいたします。
結びになりますが、長きに渡り存在してきたPTA。これからも、佐賀県全会員の皆様の声に耳を傾け、これまで以上に必要とされる組織を目指し、子供たちの輝かしい未来のために、本連合会へのご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

37年の信頼と実績

丸田塾
maruta

正社員講師が責任をもって指導します

中学受験準備コース

新中1 中学先取り講座
スタート!

小2~高3
目標に応じた各コース

全教科指導
部活や習い事との両立も
できます

英検・漢検・数検
の受験もできます

致遠館中
合格実績

2025年
37名

お問い合わせは各教室まで!

- ◆兵庫本部教室
- ◆城北教室
- ◆新栄教室
- ◆小城三日月教室
- ◆佐賀駅前教室
- ◆大和教室
- ◆鳥栖教室

丸田塾 HP

県P寄付で移動図書館 鳥栖市で出発式祝う

佐賀県PTA連合会が県内市町に対して実施した寄付を活用した移動図書館車「とりこさん号」の出発式が9月2日、鳥栖市立図書館駐車場で開かれました。鳥栖地区小中学校PTA連合会の山口修会長や鳥栖市の向門慶人市長らが出席し、子供たちに本を読む楽しさを伝える車の船出を祝いました。

とりこさん号は、県Pの寄付金720万円を使って導入。絵本作家ヨシタケシンスケさんが車体をデザインしました。約500冊の本を積める仕様となっており、鳥栖市内の小中学校12校を月に1回巡回し、本を貸し出します。

出発式では、向門市長が「1人でも多く

の子供が1冊でも多くの本を読むきっかけになってほしい」とあいさつ。山口会長は「移動図書館車が子供たちの未来を明るくしてくれれば」と期待しました。

(瀬戸健太郎)



テープカットして移動図書館車の船出を祝う関係者

「チーム担任制」意見交わす



県教委との連携協力会議

佐賀県教育委員会と佐賀県PTA連合会の連携・協力会議が10月29日に、佐賀市の「グランデはぐくれ」で開かれました。県教委からは甲斐直美教育長ら22人、県Pからは馬場将嘉会長ら20人が出席し、今年からモデル校で導入されている「チーム担任制」や、持続的なPTA活動の在り方などの幅広い議題について意見を交わしました。

意見交換では、県教委の担当者が今年度から県内9校で導入している「チーム担任制」について、「若手教員の育成に役立っている」「授業力や指導力の向上に繋がっている」と報告。児童の安心感や学びに対する意欲向上に繋がっていることも紹介しました。

県P側はPTA活動の課題として加入時の意思確認が難しくなっている現状などを報告。県教委はPTA活動に対し「学校運営の大きな助けになっている」と感謝し、「加入者が減って活動が減ると、子供たちが困ることも出てくる」と危機感を共有しました。(瀬戸健太郎)

県Pと県教委が連携・協力会議

働き方改革で意見交換
校長会と県Pの合同研修会

佐賀県小中学校校長会と佐賀県PTA連合会の合同研修会が9月12日、佐賀市の「グランデはぐくれ」で開かれました。両団体から合わせて約55人が出席し、「子供たちのための働き方改革」を有意義なものにするために「インテーマにPTAの役割などについて意見を交わしました。

基調講演では、前小城高校



県校長会との合同研修会で講演した牛島徹、前小城高校校長

基調講演後のグループ討議では、出席者が8グループに分かれ、「魅力ある学校づくりと働き方改革」「働き方改革に関する会員への広報について」「2テーマについて意見交換」「保護者同士の交流が少なく、子供の状況を理解していない」などの課題が出されました。(中牟田友美)

参加者の声

秋丸 昌之 理事 (小城市P)

未来へつながるチーム担任制

チーム担任制は、教員の負担軽減と教育の質の向上を図る現実的な取り組みである。若手教員の育成や児童・保護者への安心感、教員の定着率向上につながり、持続可能な学校運営への希望を感じる。この制度は教員の負担を減らすだけでなく、将来の教員を育て、すべての子供に質の高い教育を提供する未来へつながると確信した。

PTA活動については、規模を問わず、様々な工夫で加入への理

解を求めている。PTAという名称が持つ圧迫感を「サポーターズ」への変更で軽減するなど、会長が熱意を持って共感を得ようと努めている点に感心した。「子供のため」という共通目標のもと、学校を支える組織づくりが必要である。

危機管理対策は、迅速な情報共有と組織的な対応が徹底されており安心したが、避難所でもある体育館への空調設備導入が進まない点が深刻な課題だと感じた。

参加者の声

教育の重要性学ぶ機会に

県PTA連合会副会長 橋口寛太

今回の合同研修は、日ごろ教育について深く議論することがない私にとって、現場の話を聞ける貴重な機会でした。

講演では、前小城高校校長の牛島徹先生が、同校で実施した取り組みを紹介されましたが、その熱意と行動力(リーダーシップ)には驚かされました。特に印象に残ったのは、従来の生徒指導を生徒支援に改め、大人主導から生徒の自主性を尊重した運営に変更したこと。また、生徒を画一的に扱わず、家庭状況に応じ、柔軟に対応していたことも多様性社会を先取りした内容で心に残りました。

この取り組みにより、学校全体が進化し、生徒が自発的に独自の取り組みを始めるなど、「環境が人を育てる」結果となっていました。この講演から改めて教育の重要性を学ぶことができ、有意義な研修となりました。

みんながわくわくできる

秘密基地

○平日 19 時まで利用可

○安心の完全送迎

○お弁当 (有料) の注文可能

○土曜・祝日 18 時まで

○おやつ・ジュース無料



放課後等デイサービス
みんなのもり
ボルダリングやeスポーツを導入し「できた」という成功体験を積み重ねることで「忍耐強さ」や「自信」につなげていきます。

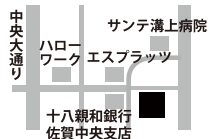


放課後等デイサービス
みんなの教室
モラージュ佐賀北館2階
「eスポーツの推進」「お子様の特性に配慮した学習指導」を掲げ、最新鋭のパソコン配備や、「教室」の名にふさわしいプロの学習塾講師による指導を受けることが出来るなど、学びの環境を整えました。



放課後等デイサービス
みんなのひろば
トランポリンなどの運動により、インナーマッスルや筋肉・体幹を鍛え、脳の発達を促し、「記憶力」「集中力」「理解力」の向上につなげていきます。

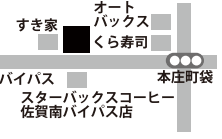
佐賀市呉服元町 2-14
0952-37-7678



佐賀市巨勢町牛島 730
モラージュ佐賀北館 2 階
080-3222-8900



佐賀市本庄町袋 301-1
0952-97-8553



市郡連会長に聞く

県内に13ある市・郡・地区PTAの会長を順番に紹介します。それぞれの地区の自慢や課題、今後の展望について語ってもらいます。

第28回

鹿島市 鶴 健太 会長



つる・けんた

鹿島市出身。5人兄妹の父で県P副会長、市P会長を務める。26歳から始めたソフトテニスの指導歴は18年。子供たちと汗だくになりながら体を動かすのが日課という。気付けば日焼けが標準装備となり、今では色黒がトレードマーク。特技は伝統芸能である上古枝面浮立。所属単Pは古枝小。44歳。

「つながり」持てる貴重な場

◆PTAに関わったきっかけと入った後の感想は？

長男が小学校に入学する時から、何かしら学校のお手伝いに関わってきました。子供の数も多く、お世話になっているので「学校へお返しをするのは当たり前のことかな」という気持ちでした。活動へ参加していくうちに、普段では知り合えない方々と知り合え、先生方との距離も近くなり、いろんな方々と「つながり・関わり」を持つことができたのは、とても貴重だったと感じています。

◆鹿島市のいいところ教えてください。

観光スポットでは祐徳稲荷神社がありますし、有明海や多良岳など自然豊かなところも魅力です。食べ物もおいしく、ミカンや海苔、日本酒などの名産がたくさんあります。鹿島市は「住めば都」的な場所であり、自分自身を成長させてくれる素晴らしい環境だと思います。

◆鹿島市PTAの課題はありますか？

多様化の時代、PTAへ属さないという選択も当然ありますが、会員数が減少すると活動自体が続けられなくなります。だからこそ、PTA活動の意義を皆さんに知ってもらうことが大切です。「知らないこと」への不安や戸惑いを払拭することが今後の課題と考えます。

◆次世代の役員さんへのアドバイスを。

初めは子供のためにという気持ちで活動していましたが、実際に活動に携わる中で、子供と一緒に学べる場であることに気づきました。楽しみながら参加することで、自分自身にとって学びやプラスとなり、いろんな方々との「つながり・関わり」を持てる場となるはずです。ぜひ前向きに取り組んでほしいです。

(聞き手・針尾 篤)

福岡市で九P研究大会

新たな価値の創造へ学び深める

第70回日本PTA九州ブロック研究大会福岡市大会が10月18、19の両日、福岡市の「マリネメッセ福岡」を主会場に全4会場で開催されました。九州各県のPTA関係者ら約4500人が集い、「UP!PTA」これからの未来を描

九P大会で提言する西唐津中PTAの山村勝彦会長



「DXは本当に幸せなミライを描くことができるのか」という問いかけから、PTAの活動が、子供たちの未来をどう支えていくかなどについて、意見を交わしました。このうち第4分科会では、唐津市の西唐津中PTAが「DXは本当に幸せなミライを描くことができるのか」持続可能なPTAを指しての演題で提言しました。

「PTA」をスローガンに掲げ、新たな価値を創造するために実践していく具体的な活動方針などについて学びを深めました。初日は6つの分科会を開催。提言発表やグループ討議を行い、単位PTAの活動や、子供たちの未来をどう支えていくかなどについて、意見を交わしました。このうち第4分科会では、唐津市の西唐津中PTAが「DXは本当に幸せなミライを描くことができるのか」持続可能なPTAを指しての演題で提言しました。

発表した同PTAの山村勝彦会長は、インター

表彰おめでとう
ございます

九州ブロックPTA協議会表彰

団体表彰

みやき町立北茂安中学校PTA

佐賀市立川副中学校PTA

唐津市立湊中学校PTA

伊万里市立東陵学園PTA

武雄市立山中中学校PTA

江北町立江北小学校PTA

個人表彰

本吉佳子

荒木健

馬場亜衣

感謝状

長友篤志

日本PTA全国協議会年次表彰

団体表彰

多久市立東原庵中央校PTA

個人表彰

長友篤志

池田智博

本吉佳子

新聞コンクール、応募を！

締め切りは 26年3月25日

佐賀県PTA連合会は、県内の小中学校PTA(育友会)が作成した新聞(広報誌)の出来映えを競うコンクールを毎年開催しており、今年度も広く応募を呼び掛けています。上位入賞作品は日P広報紙コンクールに出品します。

応募の対象となるのは、各単位PTAが作成した新聞で、2025年4月1日から26年3月31日までに発行したもの。年2回以上発行している単Pは、どれか一つを選んで応募します。出品部数は同一号を3部(号数や発行日付が異なるものは不可)で、所定の出品カードを添えて応募してください。

(光武白水)

要項・出品カードは
佐賀県PTA連合会
ホームページから
ダウンロードできます



【送付先】〒840-0016 佐賀市南佐賀3-11-15
県立佐賀高等学校内 佐賀県PTA連合会事務局
PTA新聞コンクール係

【問い合わせ】
県P事務局 電話0952(26)2276



令和7年度劇場・音楽堂
等の子供舞台芸術鑑賞
体験支援事業

小学生～18歳以下のお子様の

無料招待枠 があります!!

お申込はこちら

※数に限りがございますので
お早めに!



チケット好評発売中!

[チケット料金] 全席指定 5,500円(税込)

※未就学児の入場不可(託児サービスはありません)

※営利目的の転売禁止

■佐賀市文化会館

■佐賀新聞社

■ローソンチケット

■イープラス

■佐賀玉屋

■チケットぴあ

■セブンチケット

佐賀新聞でかんたん
ネット購入!

チケットはご自宅にお届けします!
(別途送料460円がかかります)



お問い合わせ
佐賀市文化会館 ☎0952-32-3000
佐賀新聞プランニング ☎0952-28-2151 (平日9:30~17:30)

小林愛実

ピアノ・リサイタル 2026

Aimi Kobayashi Piano Recital

2/7(土)

佐賀市文化会館 大ホール
開場13:15 開演14:00

Program

♪ラヴェル：前奏曲

♪ラヴェル：ボロディン風に

♪ラヴェル：シャブリエ風に

♪シューマン：クライスレリアーナ op.16

♪ショパン：3つのマズルカ op.59

♪ラヴェル：クーブランの墓

※演奏予定曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催：公益財団法人佐賀市文化振興財団、佐賀新聞社

©Darek Golik / Chopin Institute



江里口家の家訓

わが家の家訓は「楽しいことは全力で」。実は私自身、昔から自由に動くことやワクワクすることが大好きで、その姿勢は子どもたちにも自然と伝わってほしいと思っています。

好きなことに真つすぐ向かう気持ちは、挑戦する力

や、前向きに生きるエネルギーになるはず。日常の小さな楽しみでも遠慮なく味わい、家族みんなで笑い合える時間を大切にしながら、これからも「全力で楽しむ」を合言葉に過ごしていきたいと考えています。

江里口翔香(上峰小PTA)

楽しいことは全力で！

馬場家の家訓

わが家には、小学生と未就学児の子供が3人います。そして祖父母とも同居しています。

朝は、仕事や学校に出る時間がそれぞれ違うため、朝食はバラバラにとっています。皆が慌ただしくしている中で会話をしている時間はとれません。

そのため、夕食はできるだけ皆でそろって食べることを心掛けています。毎日は難しいですが、少しの時間でも

家族全員で食卓を囲むことで、自然と話題が生まれて会話が弾みます。

これから子供たちが成長するにつれて、全員そろって食事をする回数が減っていくかもしれませんが、大切にしていきたいわが家の家訓です。

馬場 亜衣(千代田東部小PTA)

食卓は家族そろって



わたしの推し歌 You Raise Me Up

Celtic Woman (2006年)

Memorable Songs

曲に助けられ、進むことができた

この曲との出会いは、自分がまだバリバリに働いていたころ、早朝出勤や続く残業で身も心も疲弊していた時だ。ふと家でテレビを見ていた時、某車会社のCMソングとして流れているのを聴いたことがきっかけだった。

この曲を聴いた時に、自分の疲れ果てていた心身が軽くなった気がして救われた感じがした。落ち着いた曲の出だし、透き通った高い歌声、あっという間に虜になった。

この曲の歌詞は「困難な時、心に重荷を背負った時、あなたが私のもとに来て、私を立ち上がらせてくれる。その力に助けられることで、私は『自分が持っている力を超えて』進むことができる」という感謝の言葉が続く。

まさに、この曲との出会いによって自分は助けられ、進むことができた。以来、何かあれば家や車内で聴くようになり、当時彼氏だった旦那に猛プッシュし、結婚式の時にも使用し、今はスマホの着信音にもなっている。

詐欺や間違い電話以外で、誰か電話をかけてくれないかな～？と思いながら、今は疲れたらコソッと音楽プレイヤーをつけて心身をリフレッシュしている。

(千代田東部小PTA 嬉野 真紀子)

いいね！

単位PTA通信

北川副小PTAは、隣接する赤松小PTA、城南中PTAの3校で2年に1度、持ち回りで講演会を開催しています。一昨年度は当校PTAが幹事校でしたので、アーティストの宮崎健介さんをお呼びして、講演会&作品制作を行いました。

宮崎さんは赤松小・城南中の卒業生ということもあり、参加した子供たちや保護者の方々も親近感を持ちながら、世界中で壁画を描いている話に興味津々の様子でした。

作品は、役員が作成したキャンバスに宮崎さんが下絵を描き、子どもたちが思い思いに色を付け、大きな3本の木が完成しました。完成した作品は3分割され、それぞれの学校に飾られています。また、今年度はマルシェを企画

3校合同講演会で作成！

北川副小PTA会長 藤田 佳典

し、保護者の皆さん、地域の皆さんに声をかけて出店を依頼しました。キッチンカーや近隣店舗からも出店してもらい、飲食店舗、体験コーナー、eスポーツなど26店舗が並びました。それと併せて、市が実施しているバルーン搭乗体験も同日に開催してもらうように調整しました。

子どもたちも保護者の皆さんも一緒に楽しめるような企画をこれからもつくっていききたいと思っています。

小・中学生総合保障制度ご案内 [こども総合保険]

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします

賠償補償

お友達にケガをさせる

自転車事故

身体補償

通学中のケガ

日常生活でのケガ

育英費用補償

扶養者が事故で重度の後遺障害

補償内容について3分間の動画にまとめました

どのような補償があるか、ご確認ください

■制度に関するお問合せ先(取扱代理店)

株式会社コーリン(佐賀県PTA連合会 保障制度事務局) 0120-228-553 受付時間/平日 午前9:00~午後5:00

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F <https://www.pta-corin.com/>

■引受保険会社(幹事会社) AIG損保(非幹事会社) 東京海上日動、損保ジャパン、CHUBB

○この広告は「小中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ずパンフレット及び重要事項説明書をご覧ください。

スマホで簡単手続き！お申込みはコチラ

90-0014 (2026-04)